

これは、わたしが小さいとき
に、村の年寄りから聞いたお話で
す。昔、あるところに、ごんとい
う子ぎつねがいました。ごんは、
ひとりぼっちの子ぎつねで、いつ
も森の中にいました。秋になる
と、村の川でとれる魚を、そつと
盗んでは遊んでいました。

新美南吉「ごんぎつね」より